

人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所グループ

2026年5月8日

報道関係各位

三菱地所コミュニティ株式会社

全社員が「認知症サポーター」に！養成講座受講者数が1万2千人を突破 ～地域に寄り添い、誰もが安心して暮らせる社会の実現～

三菱地所コミュニティ株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役 社長執行役員:大井田篤彦)では、管理マンションの現場スタッフ(管理員)を対象に、認知症に関する正しい知識を身につけ、地域をサポートすることを目的とした「認知症サポーター養成講座」を継続して実施してまいりました。一昨年より対象範囲を拡げ、内勤者を含む事務所スタッフ(約1,200名)にも同講座を実施し、2026年3月末をもって対象社員全員が認知症サポーターとなりました。これにより、当社における同養成講座の累計受講者数は1万2千人を突破いたしました。

当社では、高齢化が進む社会環境を背景に、マンション管理事業をはじめとする日常業務において、認知症への理解がますます重要になると考え、社員一人ひとりが共通の知識と意識を持つことを目的に、本取り組みを推進してまいりました。講習では、認知症の基礎知識に加え、実際の現場を想定した接し方やコミュニケーションのポイントについて学んでおります。

超高齢社会を迎える中、認知症は誰にとっても身近な社会課題となっています。社員一人ひとりが「できる範囲で支える」という認知症サポーターの考え方を理解することで、業務における対応力の向上はもちろん、サステナビリティの視点から「誰ひとり取り残さない社会づくり」を目指した取り組みの一つとして位置付けています。

今後も当社は、継続的な認知症サポーター養成に取り組むとともに、社員一人ひとりが地域社会の一員として行動できるよう、社会課題への理解と実践を深める取り組みを推進し、誰もが安心して暮らせる持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【認知症サポーターとは】

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で支援するサポーターです。厚生労働省が全国キャラバン・メイト連絡協議会と共に全国で認知症サポーター養成講座の実施している取り組みです。



【お問合せ先】三菱地所コミュニティ株式会社 経営企画部 メール: mjc-kouhou@mec-c.com